

## 郵政民営化委員会（第202回）議事要旨

日 時：令和元年5月29日（水）15：30～17：00

場 所：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会室

出席者：岩田委員長、米澤委員長代理、老川委員、清原委員、三村委員

日本郵政株式会社 市倉専務執行役、小方常務執行役

日本郵便株式会社 小野専務執行役員、根岸常務執行役員、上尾崎執行役員、行木執行役員

株式会社ゆうちょ銀行 志々見専務執行役、奈倉執行役

株式会社かんぽ生命保険 堀金取締役兼代表執行役副社長、宮本執行役

### 1. 議事

- ・ 「日本郵政グループの2019年3月期決算等について」（日本郵政グループ）
- ・ 「株式会社かんぽ生命保険株式の売出しについて」（日本郵政株式会社）
- ・ 「国際物流事業の取組状況について」（日本郵便株式会社）

### 2. 委員会での説明・意見等

（1）日本郵政グループの2019年3月期決算等について【資料202-1-1～10】

#### ① 説明の概要

- ・ 資料に基づき、日本郵政グループから決算、ゆうちょ銀行の貯金残高の概要を説明。

#### ② 委員からの意見等

- ・ 荷物について、同業他社に比べ、日本郵便の優位性は何か。  
（⇒ 荷主が経費節減のために荷物の小型化を進めており、小型の荷物が増加している。これにより二輪車での配達ができる点などは、同業他社に比べ優位性があると考えている。）
- ・ 預入限度額の見直しに係るシステム改修の経費負担の影響はどの程度か。  
（⇒ 大きな経費負担増とはなっていない。）
- ・ 厳しい経営環境が続いているが、ゆうちょ銀行は今後、収益目標を達成するために、どのようなことに力を入れようと考えているのか。  
（⇒ 国内の低金利状況の急激な改善は期待できないと考えており、限られる手段の中で、運用の多様化を進めると共に、投信等の役務取引による手数料収入の確保及びコスト削減に努めて参りたい。）

（2）株式会社かんぽ生命保険株式の売出しについて【資料202-2】

- ・ 資料に基づき、日本郵政から株式売出しの概要を説明。

（3）国際物流事業の取組状況について【資料202-3】

#### ① 説明の概要

- ・ 資料に基づき、日本郵便から国際物流事業の取組状況を説明。

#### ② 委員からの意見等

- ・ JPTールロジスティクスの状況如何。  
（⇒ 設立から間もないが、トール社の顧客との日本国内での物流にかかる商談が順調に進んでいる。）
- ・ トール社と日本郵便は、得意分野が異なると思うが、どのような連携策を考えているか。  
（⇒ トール社の強みである小売・医療分野等のノウハウを国内にも取り込むと共に、将来的には、トール社の顧客の宅配ニーズを日本郵便に取り込み、海外から日本へのBtoBやBtoCが可能となるビジネスモデルが考えられる。）
- ・ トール社への経営陣の派遣や、職員の出向により、日本郵便へどのような効果があるか。  
（⇒ 現地で実際に働くことにより、外国人と商売することについてのグローバルな考え方が身につくことにつながるなど、好影響を与えている。）

以上

（注）議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。